



Aluminum lightens the world
アルミでかなえる、軽やかな世界

CORPORATE PROFILE

日本語版



アルミニウムの特徴を活かし、「素材+a」を追求 「なくてはならない企業」に。

当社は、2023年10月に、経営統合から10年、アルミニウム圧延を開始してから125年の節目の年を迎え新たな一步を踏み出しました。

この間、国際市況の大きな変化や新型コロナウイルス感染拡大などの厳しい局面に遭遇しながらも、構造改革を着実に実践し、さまざまな苦難を乗り越えてまいりました。

一方で、当社グループを取り巻く環境も日々大きく変化しています。近年、サステナビリティに対する意識の高まりにより、気候変動への対策やサーキュラーエコノミー構築への貢献など、アルミニウムだからこそ力を発揮できる領域が広がりを見せています。これらの課題に対応することは、当社グループの企業理念である「素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する。」ことにつながります。

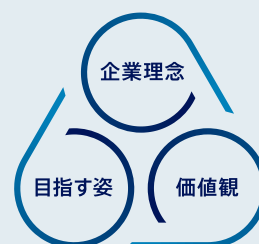
アルミニウムの特徴を最大限に活かし、「素材+a」を追求し、事業のさらなる発展のため、地球環境保全活動、新領域への展開、長期経営ビジョン「UACJ VISION 2030」の達成を通じて、持続可能で豊かな社会「軽やかな世界」の実現に貢献してまいります。

当社は今後も、世界トップクラスのアルミニウム総合メーカーとして、生産能力や技術力をさらに磨き上げ、社会変化への対応力を強化し、「なくてはならない企業」としてグローバルな視点で製品・ソリューションの提供を続けてまいります。



代表取締役 社長執行役員
田中 信二

UACJグループ理念



企業理念

素材の力を引き出す技術で、
持続可能で豊かな社会の実現に貢献する。

目指す姿

アルミニウムを究めて環境負荷を減らし、
軽やかな世界へ。

価値観

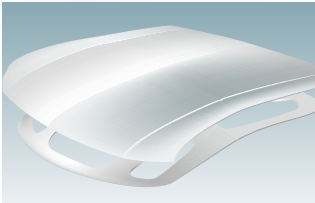
- ▶ 相互の理解と尊重
- ▶ 誠実さと未来志向
- ▶ 好奇心と挑戦心



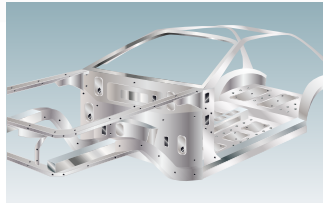
自動車分野

アルミニウムの特長を活かし、性能・燃費向上に

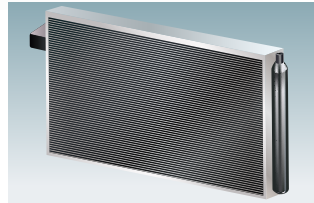
UACJの技術力とアルミニウムの軽量・高強度という特性を活かして、さまざまな部材を供給しています。製品の性能向上を支えるとともに、クルマの軽量化を通じた燃費向上、さらに環境負荷低減に貢献しています。



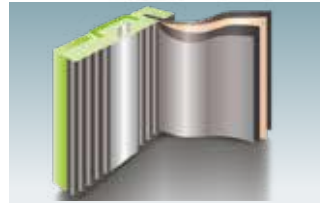
ボディパネル材



構造部材



熱交換器材



バッテリーモジュール材

アルミニウムのチカラを

社会に

航空・宇宙分野

最先端技術を活用して、
安全性と燃費向上の両立へ

UACJは、航空機材の礎となるアルミニウム合金「超々ジュラルミン」を開発しました。その後、改良が加えられ、現在の航空機材の主要合金として、強度と安全性の向上に貢献しています。



船舶分野

輸送船の高速化・軽量化・耐食性向上に

軽量で耐食性を持つアルミニウムの特性を活かし、船舶の高速化を実現。また、低温に強い特性を活かして、極低温で運搬される液化天然ガス(LNG)のタンク材も生産しています。





飲料缶分野

原材料に活用して、リサイクルの促進に

アルミニウム缶は、リサイクル率90%を超える日本をはじめ、世界のさまざまな国で循環型の飲料容器として使用されています。UACJは、アルミニウム缶のリサイクル設備を導入し、環境負荷低減に貢献しています。

医薬品・食品分野

無害・密閉性などの特性を活かして、安全・安心な暮らしを

医薬品・食品分野の包装材には、衛生を保つ機能や高い安全性が必要です。UACJは、表面加工や印刷技術によって、これら性能を満たす利便性の高いアルミニウム製品を供給しています。



IT分野

モバイル化が進むIT機器を軽量・高強度に

暮らしに欠かせないスマートフォンやタブレットには、軽さや強度、デザイン性が求められます。UACJはアルミニウムでこれらニーズに応え、お客様の多様な製品づくりに貢献しています。



建築分野

多様な特性から、景観性と作業性の向上に

アルミニウムは素地が美しく、耐食性・耐久性が高いという特性を有しています。UACJは、アルミニウムを建築資材として供給し、街の景観向上、作業効率の向上に貢献しています。





100万トン超の生産能力

UACJは、年間100万トン超の生産能力を有する世界トップクラスのアリミニウムメーカーとして、高精度で安定した品質の製品を世界に届けています。

アルミニウムのチカラを

最大に



熱間圧延機

世界有数の 生産設備

UACJは、特長ある生産設備を多数有しています。全長400m×幅4.3mに及ぶ世界最大級の熱間圧延機や、国内最大級の大型溶解炉、高い生産性を誇る4スタンド熱間仕上圧延機などを活かして、他にはない大型製品や高品質製品を生み出すことができます。



4スタンド熱間仕上圧延機

研究部門と一体となった 生産技術

UACJは、製造部門と研究部門が一体となることでお客様のニーズに迅速に対応しています。お客様製品の品質・生産性を向上させる信頼性の高い製品をお届けしています。



試験圧延機

アルミニウムのチカラを

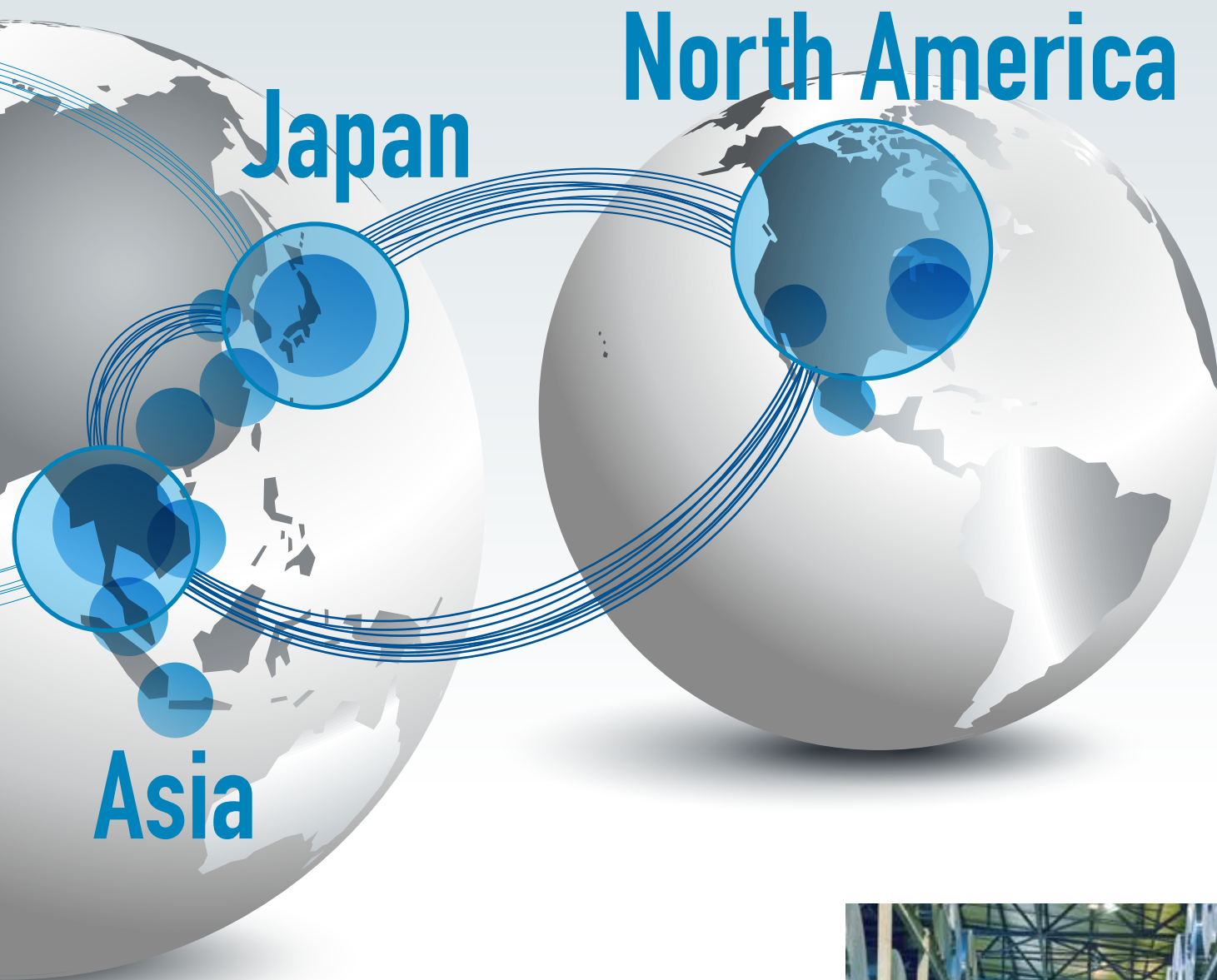
世界で

Europe

日本・北米・タイを基軸とした グローバル供給体制を構築

UACJは、世界的なアルミニウムメーカーとして、グローバルな供給体制を構築しています。日本では板事業の主力となる3つの製造拠点を活かした最適生産体制を確立。幅広い製品を効率よく供給しています。北米では世界一の缶材生産効率を誇るローガン工場を中心に缶材を生産。需要拡大が著しい自動車分野においても、北米エリアNo.1のブランド力を誇る高品質製品で市場ニーズに応えています。また、タイでは、東南アジアで唯一となる板圧延の一貫生産体制を活かして、経済成長とともに拡大する缶材や自動車材、熱交換器材の需要に対応しています。これら3つのエリアの供給体制を基軸に、熱交換器材を製造する欧州拠点などとも連携して、地域・機能を補完し合いながら、世界の需要に応えています。





アルミニウムのチカラを

未来へ



環境負荷が極めて低い 素材を提供し “+αの価値創造”を推進

UACJは、アルミニウムの特徴を最大限に活かし、自動車の軽量化によるCO₂排出削減やCAN TO CANリサイクル※など循環型社会の実現に向けて、優れた環境性能をもつ製品を生み出し続けています。そうした素材の魅力や可能性をさらに広げるため、2023年9月にはさまざまなパートナーと共創し、「素材+α」の付加価値を拡げていくアルミ製品・素材ブランド「ALmitas+（アルミタス）」を展開。今後もアルミニウムのブランディングを推進していきます。

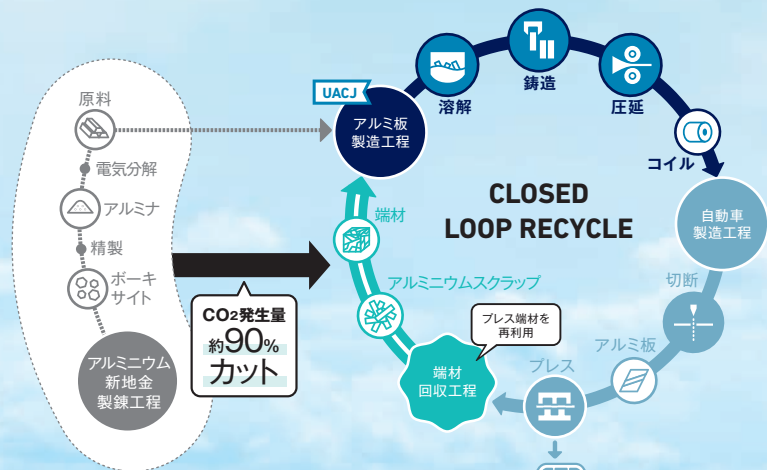
※使用済みのアルミ缶を再び材料として使用し、アルミ缶を製造すること

アルミ製品・素材ブランド

ALmitas+

リサイクル材を最大限に利用し 製造時のCO₂発生を抑制

アルミニウム製品は、原材料を鉱石から生産するのに比べ、スクラップ材を原料に使用の方が消費電力を約90%も削減できます。そこでUACJはスクラップ・リサイクル炉を使ってリサイクル材を活用するとともに、多種多様なスクラップをリサイクルに活かす再生技術も開発。近年では、難しいと言われる自動車材のクローズドループ・リサイクルを展開し、CO₂排出量の発生抑制にも貢献しています。

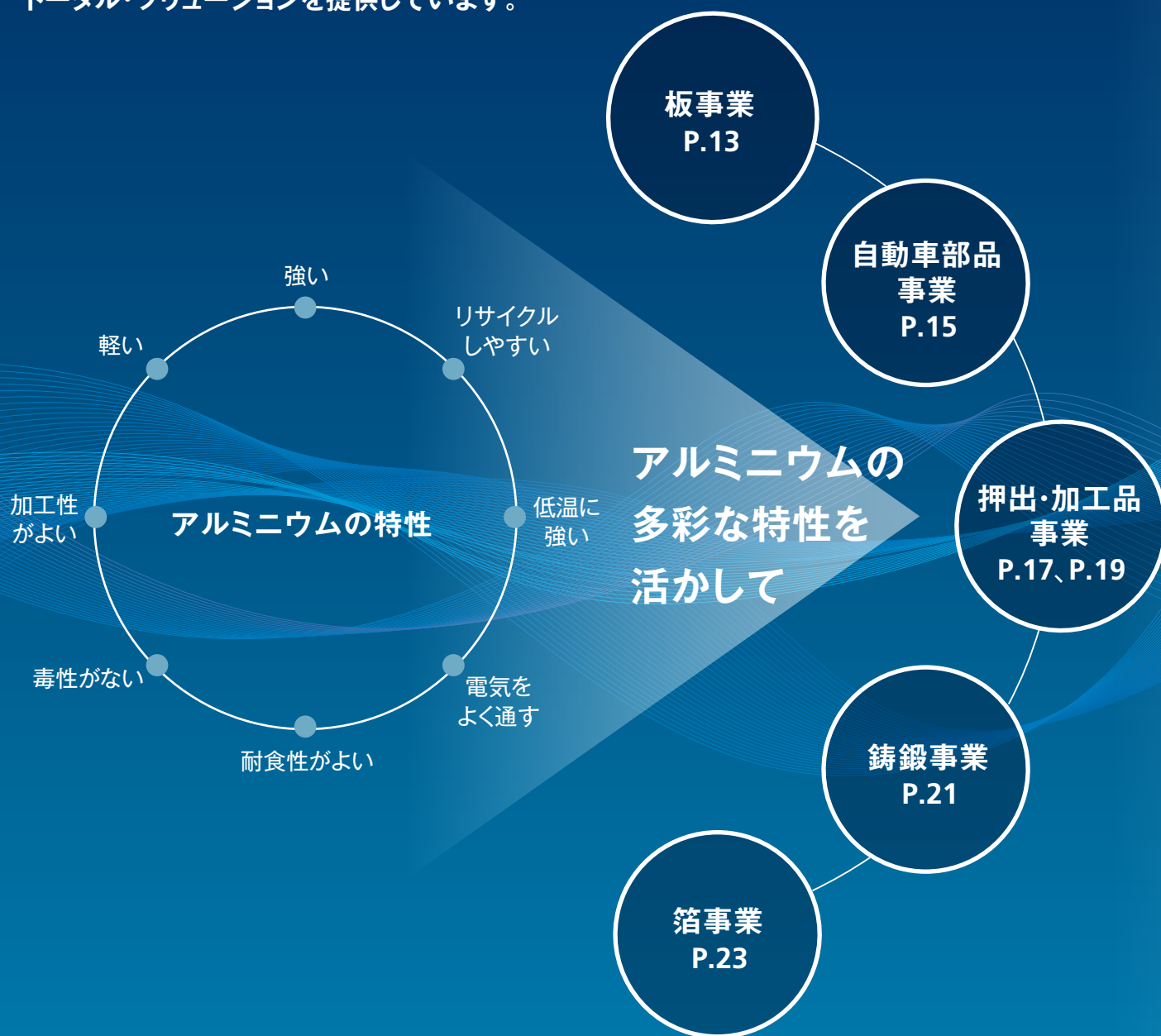


UACJの ものづくり力

生活・地域・社会に欠かせない製品を提供するUACJ。

多様な技術や生産力を活かして、アルミニウムの特性を引き出し、
お客様のニーズに応える

トータル・ソリューションを提供しています。





お客様とともに
社会の課題に応える
ソリューションを提供

アルミニウムによる性能向上

| | |
|---------|------|
| 軽量化 | 高機能化 |
| 省エネルギー化 | 長寿命化 |
| 意匠性 | 耐久性 |



板事業

主力事業の板事業において、世界最大級の設備とグローバルな生産体制を有し、世界トップクラスの生産能力を誇っています。この生産能力を活かして、国内トップシェアの飲料缶や需要が高まる自動車材など、幅広い製品を供給しています。

■ 主な製品

飲料製品



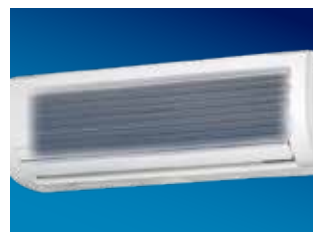
ボディ材/クロージャー材/キャップ材

自動車



パネル材

空調機器



フィン材

航空機



航空機材

船舶



LNG船タンク材



熱交換器材

IT製品



筐体/シャーシ

機械製品



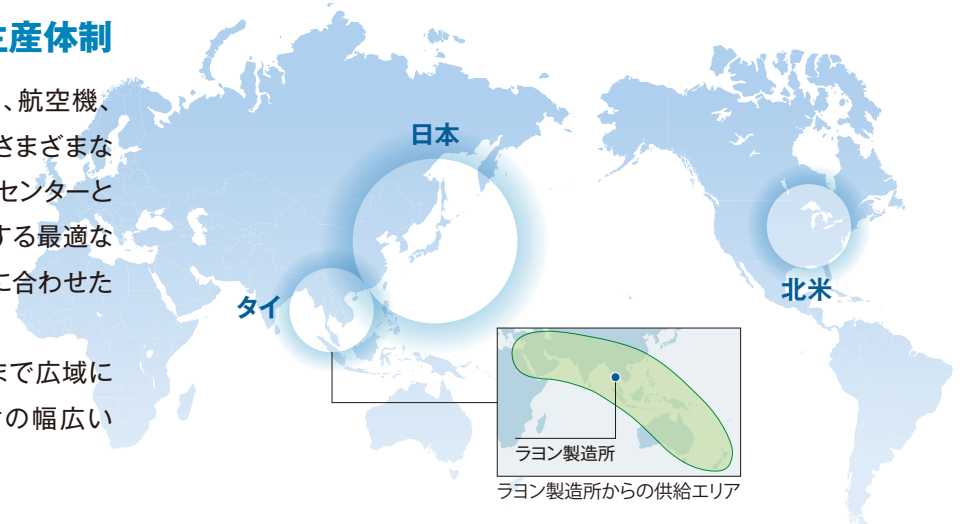
液晶・半導体製造装置用厚板

特長1

市場ニーズに応える最適な生産体制

UACJは、生活に身近な缶材から自動車、航空機、ロケットなどに使われる大型製品まで、さまざまな産業向けの製品を生産しています。R&Dセンターと連携しながら、各製造拠点の能力を発揮する最適な生産体制で、高品質かつお客様のニーズに合わせた製品をお届けしています。

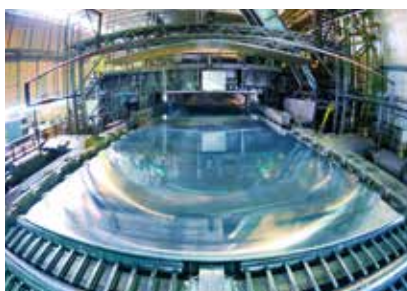
また、タイのラヨン製造所は、中東・豪州まで広域に渡って製品を供給し、アルミニウム板材の幅広い需要にお応えしています。



特長2

高品質・高生産性を支える圧延設備

UACJが誇る製造設備のひとつが、全長400m、幅4.3mに及ぶ世界最大級の熱間圧延機です。ほかにも、一度の圧延で厚さ30mmのアルミニウムを約2mmにする4スタンド熱間仕上圧延機や、世界トップクラスのスピード・精度を誇る6段冷間圧延機などを保有しています。こうした高い生産性を生み出す設備を活かして、当社にしかできない大型製品や高品質な製品をお客様にお届けしています。



熱間圧延機



4スタンド熱間仕上圧延機



6段冷間圧延機

CLOSE UP

自動車パネル材の供給能力を増強

自動車業界では、環境規制強化に伴い自動車の航続距離向上、CO₂排出削減を目的とした車体の軽量化が推進され、アルミニウムの採用が進んでいます。UACJは、福井製造所に新たに自動車パネル材専用仕上ラインを建設し、旺盛な需要に応えています。





自動車部品事業

自動車部品事業では、高い品質要求に応えるアルミニウム部品を供給しています。国内トップのアルミニウムメーカーとして培ってきた知見と生産技術を活かして、お客様のニーズに迅速にお応えするとともに、その高品質な製品をグローバルに供給しています。

■ 主な製品



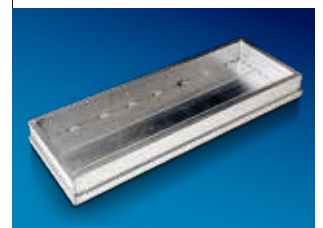
サンルーフガイド



バンパー/クラッシュボックス



クロスメンバー



バッテリーハウジング

特長 1

お客様のものづくり工程の 効率化に貢献するワンストップサービス

自動車部品事業は、企画から合金・構造などの製品設計、製造、販売、品質保証まで、ワンストップでお客様のご要望にお応えしています。自動車部品の開発の中核「モビリティテクノロジーセンター」を設立し最適な製品を企画・設計・開発するとともに、自動車メーカーや部品メーカーと綿密に連携を図りながら、スムーズなものづくりに貢献しています。



特長 2

グループ内連携によって グローバルな製品供給を実現

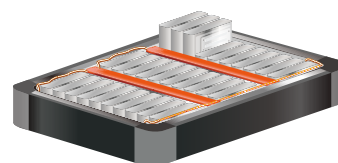
UACJは、日本に留まらず、北米や中国、そしてタイを中心とした東南アジアをはじめ、グローバルに製品を製造・販売しています。高い生産能力と多様な加工技術を有する製造拠点を世界各地に有し、世界中に高品質な製品を日本と同水準で供給できることはもちろん、各エリアのお客様の課題解決にも貢献しています。

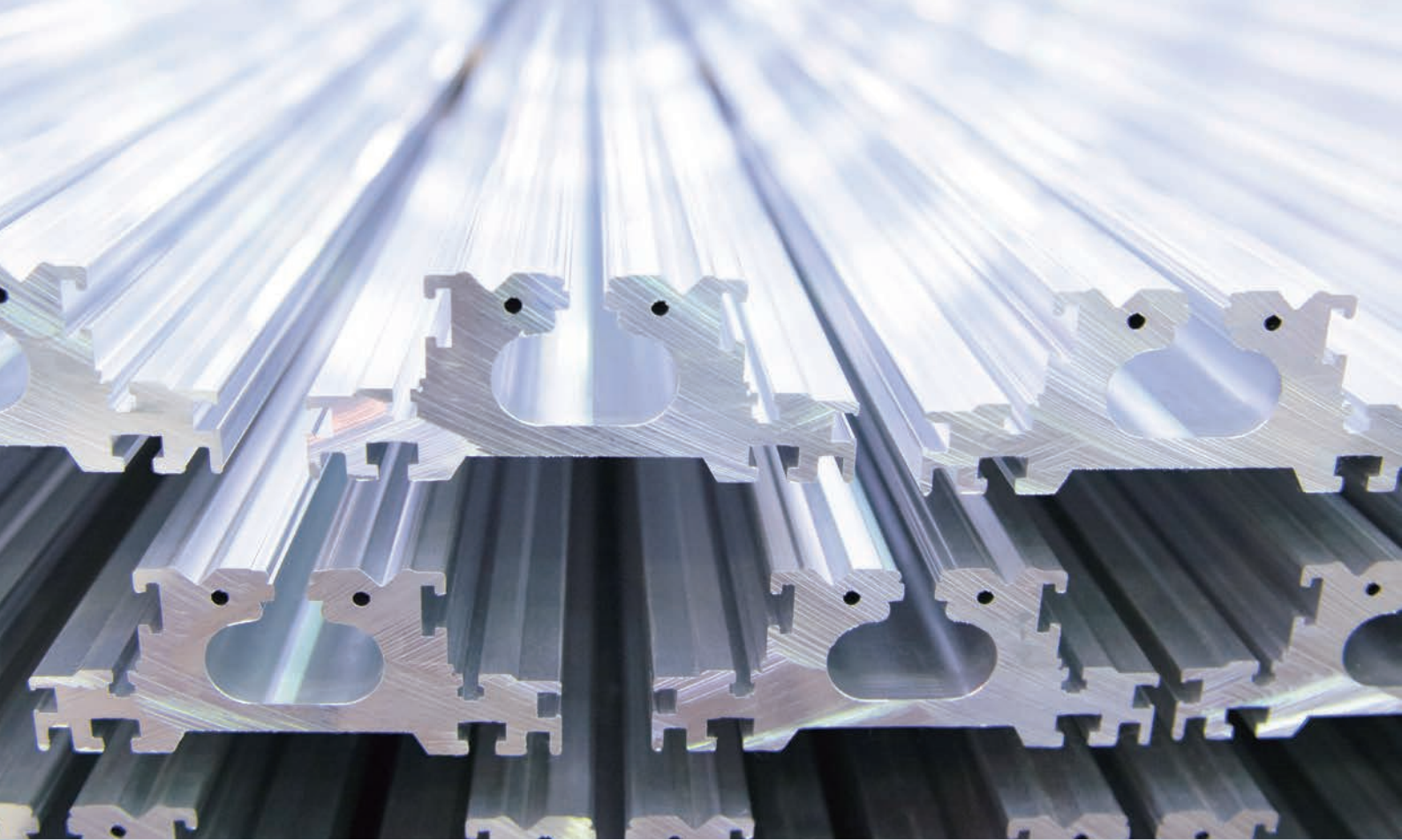


CLOSE UP

電気自動車の軽量化ソリューション

次世代エコカーとして注目が高まる電気自動車 (EV)。EVの心臓部となるバッテリーは重量があるため、一度の充電で長い距離を走るにはバッテリーの軽量化が必要となります。UACJの軽量化ソリューションは、アルミニウムの特性を活かして、車体はもちろんのこと、バッテリーモジュールの軽量化にも貢献。さらに、放熱性能にも優れた製品を実現することで、バッテリーの長寿命化、安全性向上を生み出しています。





押出・加工品事業 (押出)

押出・加工品事業ではさまざまな押出方式を駆使し、自動車をはじめとした輸送機器などで使用される管や棒、型材などの多様な形状の部材を製造しています。各製造拠点の特長を活かしながら、高強度や難形状といった高付加価値の押出製品を生み出し、多様化するニーズに応えています。

■ 主な製品

自動車



フレーム



サブフレーム



熱交換器材・配管材



フロントフォーク/フレーム/リム

輸送機器



トラックアオリ

IT製品



スマートフォン筐体

OA機器



マグロール/ヒートロール

空圧機器



エアシリンダー

特長 1

航空・宇宙分野の 要求品質に対応する 国内有数の押出機

航空機やロケットには、高い寸法精度と大径・長尺の製品が求められ、それを実現する高出力の間接押出機が必要です。UACJは、日本に10数台しかない間接押出機のうち8台を保有し、大型の5,600トン押出機やスインデル焼入炉なども活用して、航空・宇宙分野のニーズにお応えしています。また、二輪車やOA機器などに用いられる小型部材においても、精緻な寸法精度を実現するなど、高品質な部材を供給しています。



スインデル焼入炉

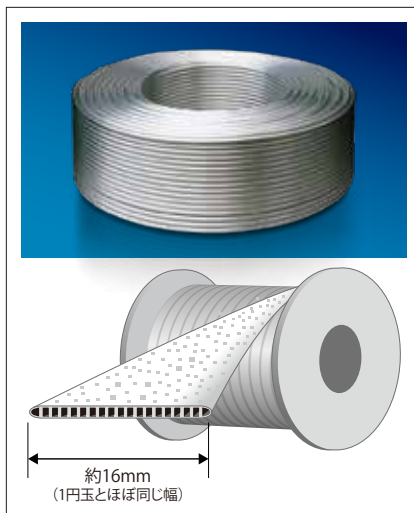


5,600トン押出機

特長 2

お客様の課題を解決する 製品実現力

UACJは豊富な経験を通じて合金や金型設計の知見を蓄積しています。こうした知見を活かして、異形や薄肉材での押出や中空箇所を複数にするといった難形状の押出加工も手がけています。自動車熱交換器用多穴チューブでは薄肉化による軽量化とともに伝熱性能の向上を図ることで、お客様が抱える課題を解決しています。



自動車熱交換器用多穴チューブとその断面図



ダイス設計

CLOSE UP

最新鋭の設備と技術で自動車部品のニーズに応える

UACJは、自動車部品や産業機器、輸送機器などで求められる厳しい寸法精度に応える最新鋭の押出機を導入しています。これらの優れた生産設備と最新技術を駆使して高品質な押出製品を製造し、自動車部品を中心とした旺盛な需要に応えています。





押出・加工品事業 (加工品)

UACJの押出・加工品事業は、成形加工から接合加工、表面処理、塗装までさまざまな加工ニーズに対応する設備と技術を有しています。グループが有する金属素材の知見も活かして、幅広い産業分野のお客様が抱える加工上の課題に最適なソリューションでお応えしています。

■ 主な製品

輸送機器



自動車部品



車両用内装部品

産業機器



アルミニウム製氮化器



ジェットパック

建材



エキスパンション・ジョイント・カバー



ショーケース

工芸・施設



プール施設

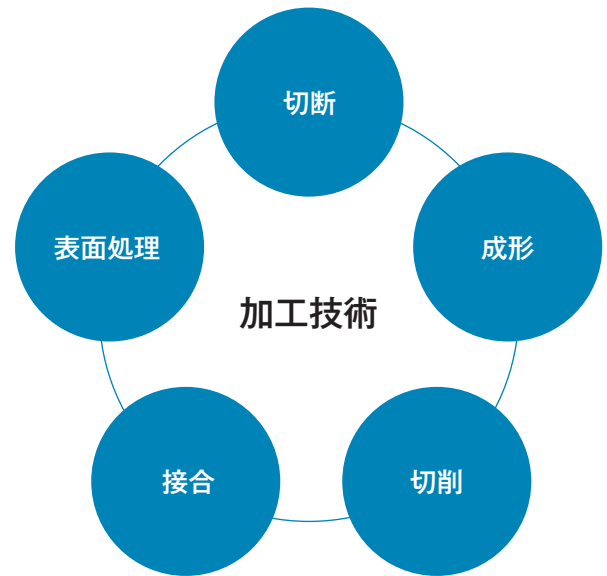


寺社用品

特長 1

金属素材の知見を活かした加工技術

押出・加工品事業の製品用途は自動車や電車などの輸送機器、ビルやプール、さらには寺社など幅広く、またサイズや形もさまざまです。こうした製品を生み出しているのが、多彩な加工技術です。切断・切削から、曲げや絞りなどの成形、さまざまな素材や形状の部材の接合、塗装・着色や皮膜処理などの表面加工まで、幅広く対応できます。設計・デザインから手がける一貫生産で、お客様の要望にお応えしています。



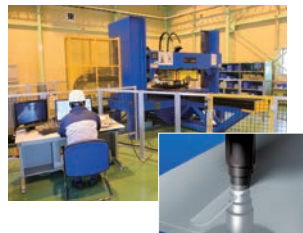
特長 2

多彩な加工を可能にする設備群

押出・加工品事業の工場では、多彩な加工に対応する設備を有しています。そのひとつが大型切断機で、アルミニウムをはじめ、銅や複合材といったさまざまな素材の切断が可能です。またマシニングセンターは国内最長クラスのストロークを持ち、高精度の加工ができます。そのほかにも、自動車部材の異種接合で注目を集めるFSW(摩擦攪拌接合)装置は、熱影響や歪みが少なく、CO₂削減、低コストといった効果を生み出す、高品質な接合を実現します。こうした設備を活かして最適なソリューションを提供しています。



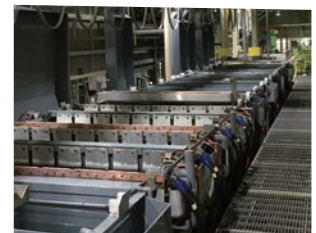
大型切断機



FSW(摩擦攪拌接合)装置



ろう付炉

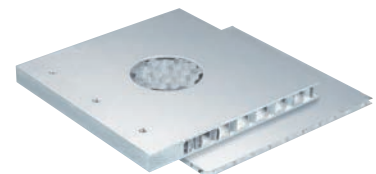


アルマイト表面処理ライン

CLOSE UP

大幅な軽量化を実現するハニカムパネル

ハニカムパネルは容積比の97%が空気であり、アルミニウムパネルのなかでは最も軽量で、かつ運搬しやすい資材として建築現場で多用されています。また、フラットで高強度・高剛性といった特長を有しています。UACJはこのハニカムパネルを、著名なランドマーク施設、空港や駅舎、学校などに供給しています。





鑄鍛事業

鑄鍛事業では、航空機、ロケット、高速鉄道や自動車などの輸送機器で使用される鑄物、鍛造品を主に製造しています。特長ある設備を活かし、独自の生産技術で、お客様の期待にお応えしています。

■ 主な製品

自動車



コンプレッサホイール



ブレーキキャリパ

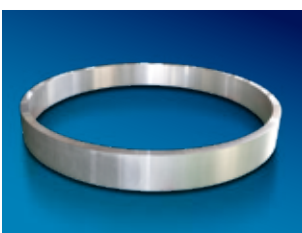


コンプレッサスクロール

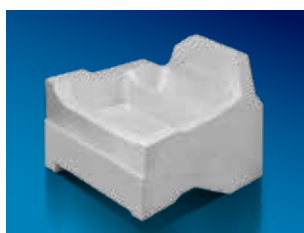


カーエアコン部品

航空・宇宙



大型リング(外径最大4,000mm)



構造部品

鉄道車両



高速車両用軸箱

船舶



エンジンピストン

特長 1

航空・宇宙産業向け製品の製造を可能にする大型鍛造設備

鍛造工場では、成形荷重15,000トンの大型鍛造プレス機をはじめ、大型製品の製造を可能にする設備を取り揃えています。これらを活かして、航空機やロケットの大型リング材、航空機胴体や主翼のフレーム材などの大型鍛造品を生産。航空・宇宙産業の品質認証Nadcapを取得した生産体制で、高い品質要求にお応えしています。



型鍛造



大型リング材



自由鍛造

特長 2

世界トップシェアを誇るコンプレッサホイール

自動車市場では、欧州の自動車排ガス規制や低燃費化に向けた小型化ニーズの高まりを受けて、ターボチャージャーの需要が拡大しています。UACJは、このターボチャージャーに用いられるコンプレッサホイールを2つの製造方法を用いて年間約1,000万個生産し、世界一のシェアを誇っています。鍛造法では、培ってきた鍛造技術を活かして、高い強度と寸法精度を実現。近年普及が進む5軸マシニングセンター(MC)による削出法でも、合金開発からの一貫製造で、高品質な製品を供給しています。



コンプレッサホイール



石膏型製作ライン(鍛造法)



5軸MCによる削出(削出法)

CLOSE UP

研究開発部門と一体となって、高性能な製品を供給

コンプレッサホイールは主に自動車などの輸送機器に用いられるため、高い強度と耐熱性が求められます。これらの性能を実現するために、鍛造事業は研究開発部門とともに品質を左右する合金開発に取り組むことで、高性能・高品質な製品を提供しています。





箔事業

箔事業で製造される製品は、安全性が求められる食品や医薬品の包装材のほか、精密さが求められるリチウムイオン電池などに用いられます。GMP基準に準拠したクリーンルームや厳格な検査体制のもと、信頼に応える高品質な製品づくりに努めています。

■ 主な製品

電池



リチウムイオン電池用アルミニウム箔

コンデンサ



電解コンデンサ用アルミニウム箔

電装部品



ワイヤーハーネス材

医薬品包装



医薬品包装用アルミニウム箔

食品包装

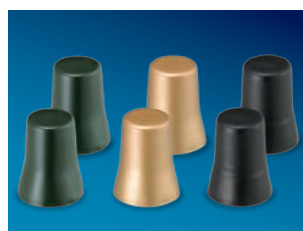


家庭用アルミニウム箔



食品包装用アルミニウム箔

建築資材



キャップ材(錫)



埋戻し補助材(A-PAT)

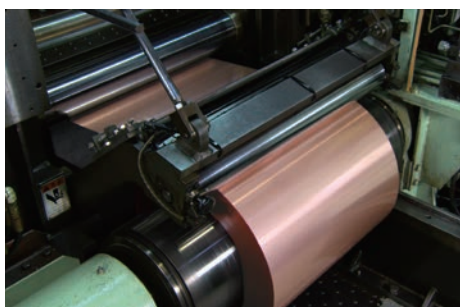
特長 1

アルミニウム、銅、錫、鉛など 各種金属箔を開発・製造する総合力

加工しやすく見た目にも美しい金属箔は、身の回りのさまざまなところに用いられています。箔事業は、アルミニウムのみならず、銅や錫、鉛などの多彩な金属箔製品を取り扱い、幅広い分野に製品を提供しています。



アルミニウム箔



銅箔

特長 2

安全・安心な製品を実現する GMP基準に準拠した製造環境

食品や医薬品の包装材の生産には、極めて高度な衛生管理が求められます。主要工場では、エアシャワーやクリーンルームの完備、工程ごとに独立したブースの設置などにより、異物の混入を完全にシャットアウトしたクリーンな環境を実現しています。この厳格な生産体制は、医薬品の製造・品質管理基準であるGMP (Good Manufacturing Practice) に準拠したものです。



クリーンルーム

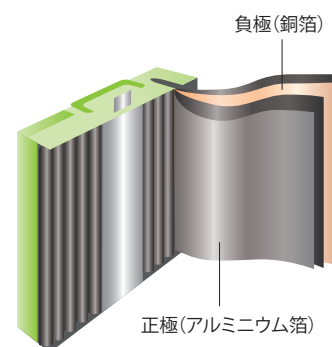


医療器具包装材

CLOSE UP

国内で唯一、リチウムイオン電池の両極箔を生産

スマートフォンやノートパソコン、電気自動車などに幅広く使われるリチウムイオン電池。その電極には、正極にアルミニウム箔が、負極に銅箔が使われています。UACJは箔事業において、国内で唯一、その両極材を生産。正極材のアルミニウム箔はトップクラスのシェアを誇っています。合金や圧延における高い技術を活かし、リチウムイオン電池の高出力・軽量化・長寿命化に貢献しています。





研究開発

UACJは、アルミニウムの新たな価値を創出するため、グループの研究開発拠点である「R&Dセンター」を軸に、お客様とともに次世代の製品や技術を開発しています。

R&Dセンターは、基盤研究と製品開発の2つの機能を有しています。基盤研究ではアルミニウムの可能性を長期的な視野で追求することを目的に、そして製品開発では飲料缶などの身の回りの製品からロケットなどの最先端分野まで幅広い分野のお客様ニーズに応えることを目的に、イノベーションの創出に取り組んでいます。

100年以上にわたり培ってきた知見を活かして、素材の付加価値向上やお客様の製品開発のサポートなどに取り組み、新たな価値創造に挑戦しています。

アルミニウムの新しい可能性を引き出す 素材・生産プロセスを開発

アルミニウムは、さまざまな特性を有しており、目的に応じて適切な元素を添加することで、より幅広い場面で使うことができるようになります。UACJは、著名な大学とともに国家プロジェクトに参加するなどして、素材や生産プロセスの開発に取り組み、アルミニウムの可能性を追求しています。

CLOSE UP

ローカルなニーズ・シーズをつかむ研究開発体制

UACJは日本にあるR&Dセンターにおいてグローバルな視点で研究開発を実施しています。また、地域ごとのニーズに対応するために、米国、タイにも研究開発拠点を設けています。

各研究開発拠点では、製造・営業拠点と連携しながら、お客様への迅速で正確な技術サービスの提供、地域のニーズに応じた新製品と新技術の開発を進めています。

お客様のものづくりに貢献する付加価値製品を開発

UACJはグループ会社やお客様と製品開発に取り組むことで、ニーズに応える製品を生み出しています。開発した製品は、お客様の製造環境を再現して評価するなど、お客様のものづくりに関する課題解決に貢献しています。

開発事例



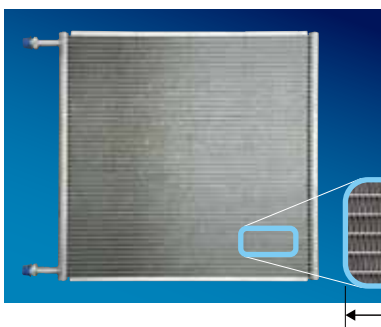
自動車軽量化に貢献する アルミニウム製軽量バンパーアセンブリー

大手自動車メーカーとともにアルミニウム製軽量バンパーアセンブリーを開発。最高水準の強度と優れたデザイン性、軽量性を追求し、各部材の材料・工法の最適化を図ることで、従来比で約30%の軽量化を達成しています。



スマートフォンの大画面化に応える 高強度アルミニウム合金

スマートフォンの大画面化にともない、強度不足が懸念される筐体。この課題を解決するために開発したのが、IT筐体用高強度7000系アルミニウム押出合金「ZK75」です。広く使用されていた6000系合金の約2倍の強度と優れたアルマイト性を持ち、美しい発色やデザインを必要とする製品に適しています。



品質と生産効率の向上を可能にする ろう付接合技術

熱交換器は、微細な部材を接合して構成されており、従来、アルミニウム部材同士の接合にはろう材が用いられていました。UACJが開発したアルミニウム接合技術「MONOBRAZE」は、接合する部材の一部を溶融し、発生した液体によって接合を行うため、ろう材が不要となります。耐食性などの品質は維持したうえで、生産効率を向上させる新技術として注目を集めています。

CLOSE UP

国家プロジェクトに参加し、革新的な素材を開発

UACJは革新的な研究成果の創出を目指して、独自の研究開発に加え、国家プロジェクトにも参加しています。たとえば新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)のプロジェクトに参加し、航空機の軽量化・燃費向上に役

立つ世界最高強度の国産アルミニウム合金の開発に取り組んでいます。この技術成果は、自動車分野の製品開発などにも展開することを視野に入れています。

UACJの サステナビリティ

UACJは、アルミニウムが持つ可能性を引き出し、
持続可能で豊かな社会の実現に貢献することを目指しています。
企業戦略の中核には「サステナビリティ活動」を位置づけており、
現在は、5つのマテリアリティに重点的に取り組んでいます。

サステナビリティの考え方・基本方針

UACJグループは、「素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する。」という企業理念を掲げています。

この理念を実践していくために、「アルミニウムを究めて境負荷を減らし、軽やかな世界へ。」を目指す姿とし、アルミニウムの製造・加工という本業とアルミニウムの特性を活かした製品とサービスの提供を通じて環境・社会・経済問題の解決に努めています。

美しく豊かな地球がずっと続く未来、そして誰もが幸せを感じられる健やかで調和のとれた社会を実現し、100年後も軽やかな世界となるように、UACJグループは、これからも、

120年以上にわたり受け継いできた叡智と情熱、そして社員一人ひとりの多様な個性を活かしながら、ステークホルダーの皆さまとともに、さまざまサステナビリティ活動を推進していきます。



このロゴは、UACJグループ理念に基づく事業活動を通じた社会課題の解決を意味しています。左側にある3つの円はUACJグループ理念(企業理念・目指す姿・価値観)を、右側にあるカラフルな丸はSDGsの17のゴールを示しています。グループ理念を中核とした事業活動とサステナビリティ推進活動が、社会課題の解決へとつながっている。そのような思いがこのロゴには込められています。

サステナビリティ基本方針

1. 受け継いできた叡智と情熱で

創業以来の探求心と、技術と知恵を結集したイノベーションでより便利な社会、持続可能な地球環境を追求します。

2. すべてのステークホルダーの皆さまとともに

事業を通じて向かい合う関係者はもとより、いろいろな形で関わりあう社会を思い、グループ内外の人々と協調・協働して持続可能な世界への貢献を実現します。

3. 一人ひとりの多様な個性で

国籍、性別、年齢、障がいの有無などの違いに関わらずさまざまな人材を尊重し、その考えやスキルを活かすことで、既成概念にとらわれない自由な発想で課題解決に取り組みます。

美しく豊かな地球がずっと続く未来へ

Environmental Sustainability / 緑豊かな青い地球



誰もが幸せを感じられる 健やかで調和のとれた社会へ

Well-being / ウェルビーイング



環境

アルミニウムを広く社会に活かすことで 環境負荷低減に貢献

環境マネジメントシステムを活用し、 環境活動の実行とレベルアップを推進

UACJは、緑豊かな地球が私たちに活動の場を提供してくれていることに感謝し、あらゆる事業活動において、「環境法規制の遵守」「環境負荷の低減」を徹底するための環境マネジメント体系を確立しています。環境委員会をはじめとする環境管理組織を整備するとともに、多くの製造拠点は国際規格の「ISO14001」や環境省が定めた「エコアクション21」といった環境マネジメントシステムの認証を取得しています。また、グループ共通の環境管理方針のもと、年度目標および活動計画を設定して継続的に改善に努めています。

2050年カーボンニュートラル実現に向けて 温室効果ガス排出量削減に注力

UACJは、気候変動対策と脱炭素社会への移行に積極的に取り組むことが重要な社会的責務であるとの認識から、「2050年にScope1・2におけるカーボンニュートラル実現」を宣言しています。この目標に向けて、社長を委員長とする「気候変動対策推進委員会」を設置し、省エネルギー活動の加速と再生エネルギーの使用を推進するとともに、リサイクル材の活用による製造時の温室効果ガス排出量削減に努めています。また2021年には、国際的枠組みである「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」提言への賛同を表明し、積極的な情報開示に努めています。

「リサイクル」の優等生であるアルミニウム

アルミニウム缶をリサイクルして地金をつくる場合、鉱石から新たにつくる場合に比べて、消費電力量はわずか3%程度に抑制されます。こうした特長を活かすためにUACJではアルミニウム缶材のリサイクルを積極的に進めており、たとえばスクラップ鋳造炉を導入した米国の製造拠点では、原材料の約80%をリサイクル材でまかなうアルミニウム缶材を製造しています。



米国のスクラップ鋳造炉



品質

お客様の満足と信頼を得るため、 品質管理・向上に注力

UACJは「お客様の満足と信頼を得る製品とサービスの提供に努める」という品質基本方針のもと、事業所ごとに品質管理活動を行うとともに、グループを横断した活動も展開し、品質向上に努めています。品質検査においては、最新鋭の試験・検査機器を活用した高精度な検査体制を確立するとともに、熟練したスタッフが厳格な検査を実施しています。

また、経営理念と品質基本方針に掲げるように、顧客満足を重要な品質項目の一つとして捉えています。定期的に顧客満足度調査を実施するとともに、お客様との交流会などを通じて得た情報を品質改善に活かしています。

品質基本方針

理念

UACJグループは、品質重視の「誠実なものづくり」を通じて、お客様の満足と信頼を得る製品及びサービスの提供に努め、持続可能で豊かな社会の実現に貢献します。

行動方針

- 技術開発、品質向上、現場力向上を推進します。
- 適用される要求事項を満たします。
- 品質マネジメントシステムの継続的な改善を行います。
- 品質目標の設定、結果の見直しを行い、必要に応じた経営資源を配備します。
- グループ員は品質方針を理解して行動するとともに、全員参加の品質向上活動を行います。

品質要求水準の高い国際認証に準じた品質管理

UACJは、独自の品質管理の仕組みに加えて、国際認証を取得した品質マネジメントシステムによる品質管理を実施しています。

品質要求の厳しい航空宇宙品質マネジメントシステムの国際統一規格認証「AS9100」を日本のアルミニウム業界で最初に取得するなど、早くからその品質管理力は高く評価されています。



AS9100登録証



人材

変わりゆく事業環境に対応できる 「人」にフォーカスした組織づくりを展開

培ってきた技能をものづくりに活かす 人材育成を推進

UACJは“ものづくり”の会社として、技能伝承に注力しています。取り組みにあたっては、ベテラン技能士が講師役となり、長年培ってきたものづくりの精神、勤やコツ、ノウハウなどの技能を引き継ぐ「塾」を、さまざまな拠点で展開しています。塾では「お客様や後工程を第一に考え、自分の仕事に誇りと責任を持ち、自分の仕事を完結する」という自工程完結の考え方の浸透を図り、製品品質の維持、継続的な生産性向上に努めています。このように培ってきた技能を伝承した人材を育成していくことで、お客様に満足いただける体制を整えています。

人材の多様性を競争力の源泉に 能力を発揮できる環境を整備

UACJは、グローバル展開や新規分野への進出などを進めていくうえで、多様な人材が能力をいかんなく発揮できることが重要であると考えています。女性が活躍できる職場づくりや国を超えた人材交流、技術・技能・ビジネスキャリアを見える化しマッピングした人材バンクの構築など、性別や年齢、国籍、障がいの有無を問わない、働きやすい職場づくりに取り組んでいます。

働きがいを高める働き方改革を展開

日本国内で本格化している「働き方改革」。UACJはその趣旨に賛同し、生産性や従業員の働きがいを高めていくための、独自の働き方改革を進めています。モチベーションの高い従業員による仕事こそ、お客様に喜んでいただける仕事であり、そうした働き方をする会社こそ「社会になくてはならない会社」と考え、労働時間管理に留まらないプロジェクトとして、全社で推進しています。





コーポレート・ガバナンス

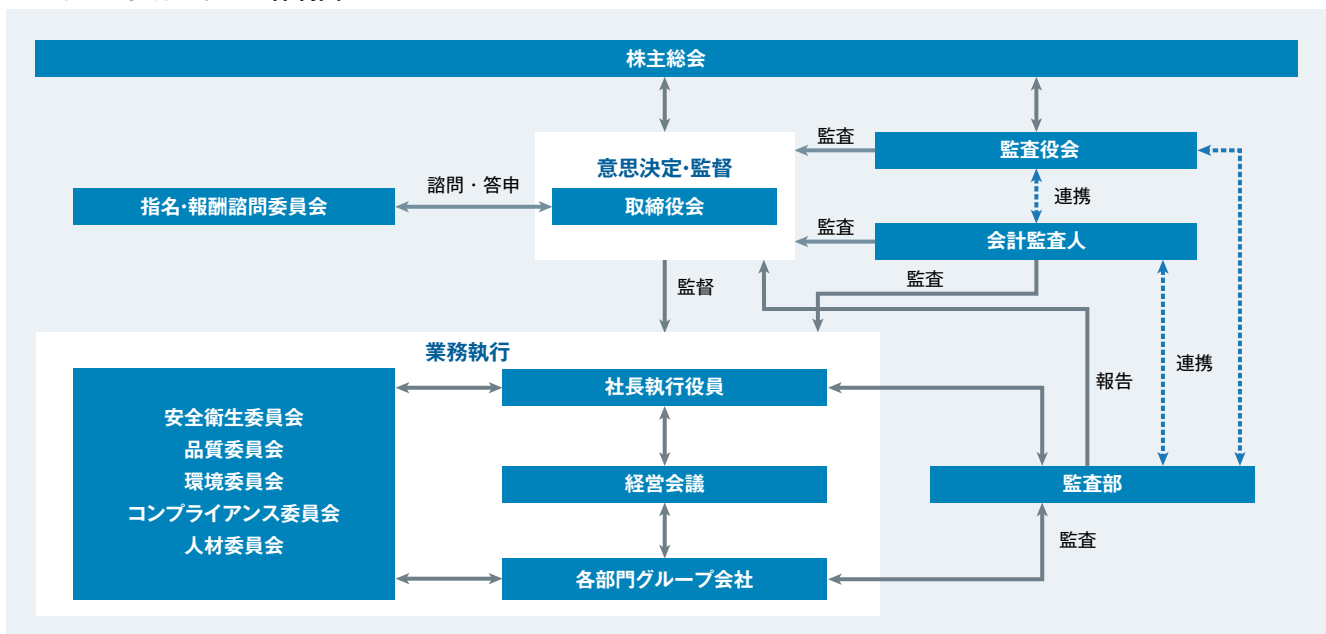
継続的な企業価値向上に向けて 透明性の高いガバナンス体制を確立

UACJは経営監督機構の確立に向け、取締役会の構成メンバーに女性や企業経営者を選任するなど多様化を図っています。また取締役会の実効性評価アンケートを行い、その結果をもとにした改善に取り組んでいます。また監査役会においても構成メンバーの半数以上を社外監査役にするなど監査機能を強化するとともに、経営・財務情報

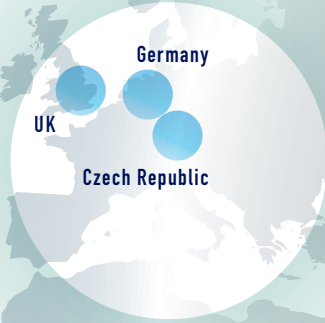
の適切な開示、企業倫理の確立に努めています。

さらにグローバル展開が進むなか、執行役員に外国人を起用し、コンプライアンスに関する教育を海外拠点でも実施するなど、リスク管理を含め、グローバル企業としての統治体制の確立に努めています。

コーポレート・ガバナンス体制図



EUROPE



乳源東陽光優艾希杰精箔有限公司(中国)



UACJ Extrusion Czech s.r.o.(チェコ)



UACJ (Thailand) Co., Ltd.(タイ)

ASIA



OCEANIA

海外

板事業

- UACJ (Thailand) Co., Ltd.(タイ)
- Tri-Arrows Aluminum Holding Inc.(米国)
- Tri-Arrows Aluminum Inc.(米国)
- Logan Aluminum Inc.(米国)
- 乳源東陽光優艾希杰精箔有限公司(中国)
- UPIA Co., Ltd.(韓国)

自動車部品事業

- UACJ Automotive Whitehall Industries, Inc.(米国)
- 戴卡優艾希杰鋁(天津)精密鋁業有限公司(中国)
- 戴卡優艾希杰鋁汽車零部件有限公司(中国)

押出・加工品事業

- UACJ Extrusion (Thailand) Co., Ltd.(タイ)
- UACJ Extrusion Czech s.r.o.(チェコ)

- UACJ Metal Components North America, Inc.(米国)
- UACJ Metal Components Mexico, S.A. de C.V.(メキシコ)
- UACJ Metal Components Central Mexico, S.A. de C.V.(メキシコ)
- UACJ Metal Components (Thailand) Co., Ltd.(タイ)
- P.T. Yan Jin Indonesia(インドネシア)

鑄鍛事業

- UACJ Foundry & Forging (Vietnam) Co., Ltd.(ベトナム)

箔事業

- UACJ Foil Malaysia Sdn. Bhd.(マレーシア)

その他

- UACJ North America, Inc.(米国)
- 優艾希杰東陽光(上海)鋁材銷售有限公司(中国)
- 優艾希杰東陽光(紹興)鋁材銷售有限公司(中国)

- 優艾希杰(上海)鋁材有限公司(中国)
- UACJ ELVAL HEAT EXCHANGER MATERIALS GmbH(ドイツ)
- UACJ Trading & Processing America, Inc.(米国)
- 優艾希杰商(上海)貿易有限公司(中国)
- 優艾希杰商(昆山)金属制品有限公司(中国)
- 優艾希杰商(香港)貿易有限公司(中国)
- 優艾希杰商(大連保稅区)貿易有限公司(中国)
- UACJ Trading Czech s.r.o.(チェコ)
- UACJ Trading (Thailand) Co., Ltd.(タイ)
- Siam UACJ Trading Co., Ltd.(タイ)
- UACJ Marketing & Processing Mexico, S.A. de C.V.(メキシコ)
- UACJ Australia Pty. Ltd.(豪州)
- Boyne Smelters Ltd.(豪州)

NORTH AMERICA



Logan Aluminum Inc.(米国)

USA

Mexico

JAPAN



福井製造所(福井)

Fukui
Fukaya
Tokyo
Nagoya



本社(東京)



名古屋製造所(愛知)

国内

板事業

- 株式会社UACJ深谷サービス
- 株式会社UACJ名古屋アルバック
- 株式会社三泉
- 株式会社古河UACJメモリーディスク

押出・加工品事業

- 株式会社UACJ押出加工
- 株式会社UACJ押出加工小山
- 株式会社UACJ押出加工名古屋
- 株式会社UACJ押出加工群馬
- 株式会社UACJ押出加工滋賀
- 軽金属押出開発株式会社
- 日本クーラー株式会社

- 株式会社UACJ金属加工

鋳鍛事業

- 株式会社UACJ鋳鍛

箔事業

- 株式会社UACJ製箔
- 株式会社日金
- 株式会社UACJ製箔サービス

その他

- 株式会社UACJトレーディング
- 泉メタル株式会社
- 鎌倉産業株式会社
- 株式会社UACJ Marketing & Processing
- 株式会社UACJアルミセンター
- 株式会社UACJグリーンネット
- 株式会社UACJ物流

沿革

古河スカイ

- 1910年** アルミニウム電線の研究を開始
- 1921年** ジュラルミンの研究試作を開始
- 1933年** 栃木県日光市にアルミニウム製板工場が完成
- 1964年12月** 昭和電工(株)、米国カイザーアルミナム社、八幡製鐵(株)(現 新日鐵住金)の3グループの合併によりスカイアルミニウム(株)を設立
- 1983年 5月** 福井県三国町(当時)に板圧延工場が完成
- 1998年 1月** 古河電気工業(株)とスカイアルミニウム(株)が、アルミニウム事業についての業務提携を開始

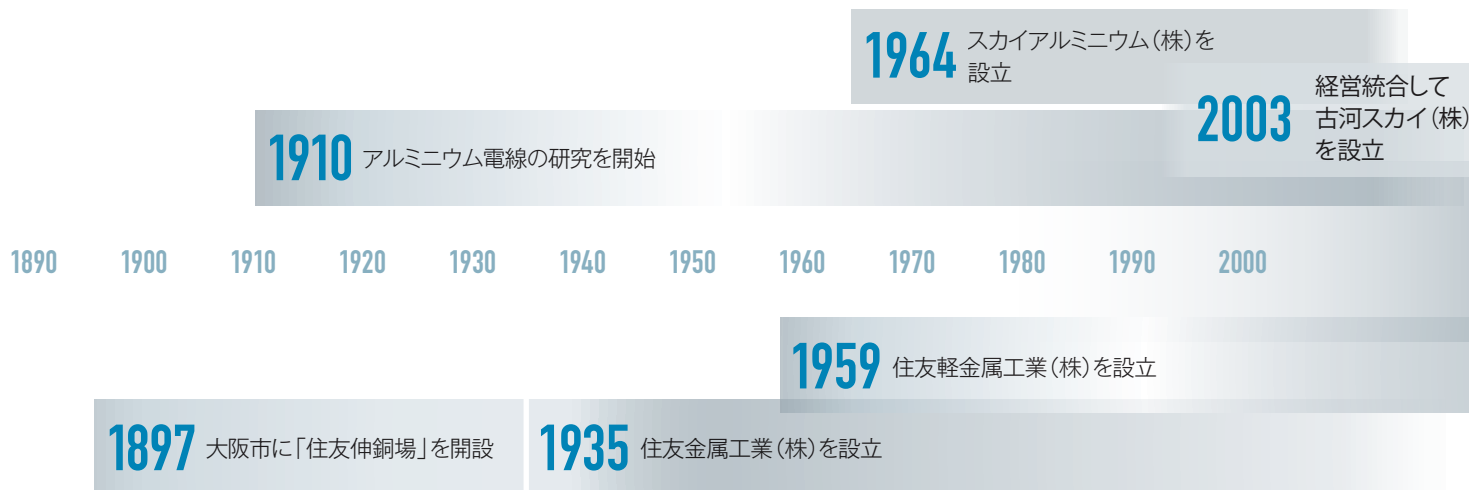


完成当時の福井製造所

- 2003年10月** 古河電気工業(株)とスカイアルミニウム(株)のアルミニウム事業を統合し、古河スカイ(株)を設立
- 2010年 2月** タイにFurukawa-Sky Aluminum (Thailand) Co., Ltd.を設立
- 2011年 8月** 米国のアルミニウム板圧延製造販売会社 Tri-Arrows Aluminum Inc.の株式を住友軽金属工業(株)等と共同で取得
- 2012年 3月** タイにアルミニウム板圧延工場(ラヨン製造所)の建設を開始



ラヨン製造所



住友軽金属工業

- 1897年 4月** 大阪市に住友伸銅場を開設し、伸銅事業を開始
- 1898年** 同伸銅場においてアルミニウム圧延事業を開始
- 1935年 9月** 住友伸銅鋼管(株)と(株)住友製鋼所が合併して住友金属工業(株)となる
- 1941年 9月** 名古屋に名古屋軽合金製造所を建設
- 1959年 8月** 住友金属工業(株)の伸銅、アルミニウム圧延部門が分離して住友軽金属工業(株)となる(営業開始同年9月1日)
- 1966年 6月** アルミニウム板新熱間圧延設備が稼働



名古屋軽合金製造所(現 名古屋製造所)

- 1969年 3月** 伸銅事業の拡大を企図し、愛知県宝飯郡(現 豊川市)に最新鋭の銅管製造工場(伸銅所)を建設
- 1979年 5月** 住軽アルミ箔(株)を設立
- 1993年 9月** 名古屋製造所アルミニウム圧延設備近代化工事を完了
- 2011年 8月** 米国のアルミニウム板圧延製造販売会社 Tri-Arrows Aluminum Inc.の株式を古河スカイ(株)等と共同で取得



伸銅所(現 UACJ銅管 伸銅所)

UACJ

- 2013年 10月1日** 古河スカイ(株)と住友軽金属工業(株)が経営統合し、**(株)UACJ**が発足
- 2013年 12月** 連結子会社の日本製箔(株)がアルミニウム箔製造販売会社Hydro Aluminium Malaysia Sdn. Bhd.の株式取得を完了し、マレーシアに**UACJ Foil Malaysia Sdn. Bhd.**を設立
- 2014年 1月** 連結子会社の日本製箔(株)と住軽アルミ箔(株)が合併し、**(株)UACJ製箔**を設立
- 2014年 7月** 連結子会社の(株)UACJトレーディングが、米国に現地法人UACJ Trading (America) Co., Ltd. (現 **UACJ Trading & Processing America, Inc.**)を設立
- 2014年 10月** 自動車部品製造販売会社Iwai Metal Central Mexico, S.A. de C.V. (現 **UACJ Metal Components Central Mexico, S.A. de C.V.**)が操業開始
- 2014年 12月** 第1次中期経営計画「Global Step I」を発表
- 2015年 8月** タイのUACJ (Thailand) Co., Ltd.ラヨン製造所一貫生産開始
- 2016年 1月** ドイツで欧州向けの自動車用熱交換器材の販売会社 **UACJ ELVAL HEAT EXCHANGER MATERIALS GmbH**が営業を開始
- 2016年 2月** 中国で自動車用熱交換器材を供給していた**乳源東陽光優艾希杰精箔有限公司**に対する出資比率を高め、同社の親会社と共同で上海に熱交換器材の販売会社 **優艾希杰東陽光(上海)鋁材销售有限公司**の設立を決定
- 2016年 4月** 北米における自動車用アルミニウム構造材・部品などのリーディングカンパニーを買収し、**UACJ Automotive Whitehall Industries, Inc.**として立ち上げ
- 2016年 4月** 米国に地域総括法人会社**UACJ North America, Inc.**を設立

2013 (株)UACJ発足



- 2016年 4月** (株)ナルコ岩井、(株)ニッケイ加工、(株)ナルコ恵那の3社が経営統合し**(株)UACJ金属加工**となる
- 2017年 3月** 資本金を522億77百万円に増資
- 2017年 4月** メキシコに自動車関連部品の販売会社**UACJ Marketing & Processing Mexico, S.A. de C.V.**を設立
- 2018年 4月** UACJ North America, Inc.内に初の海外研究開発拠点、**R&D Center (North America)**を設置
- 2018年 5月** 第2次中期経営計画を発表
- 2018年 10月** アルミニウムコイル材の切断加工を行うコイルセンター事業を集約した**(株)UACJアルミセンター**を設立
- 2018年 10月** 日本・北米に次いで3カ国目となる研究開発拠点、**R&D Center (Thailand)**を開設
- 2019年 9月** 中国CITICグループの関連子会社と事業提携し、自動車用押出加工部品を製造・販売する合併会社**戴卡優艾希杰鋁汽車零部件有限公司**を設立
- 2019年 10月** 連結子会社(株)UACJ銅管を豊川ホールディングス(株)に譲渡し、NJT銅管(株)に商号変更
- 2020年 2月** 中国に自動車用熱交換器材、電解コンデンサーおよび車載電池用アルミニウム箔を扱う販売会社**優艾希杰東陽光(韶關)鋁材销售有限公司**を設立
- 2020年 7月** 福井製造所 自動車用パネル材の新工場棟を竣工
- 2020年 10月** コイル事業会社を(株)UACJアルミセンターに統合
- 2021年 4月** 国連グローバル・コンパクトに署名し、「グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン」に加入
- 2021年 5月** 第3次中期経営計画を発表
- 2022年 3月** Aluminium Stewardship Initiativeの認証を取得

会社概要

| | |
|-----------------|--|
| 名称 | 株式会社UACJ(英文名:UACJ Corporation) |
| 本社 | 東京都千代田区大手町1丁目7番2号 東京サンケイビル |
| 代表取締役 社長執行役員 | 田中 信二 |
| 事業内容 | アルミニウム等の非鉄金属及びその合金の圧延製品・鋳物製品・鍛造製品並びに加工品の製造・販売等 |
| 資本金 | 522億77百万円 |
| 決算期 | 3月31日 |

拠点

製造所

| | |
|--------|---------------------|
| 名古屋製造所 | 愛知県名古屋市港区千年3丁目1番12号 |
| 福井製造所 | 福井県坂井市三国町黒目21-1番地 |
| 深谷製造所 | 埼玉県深谷市上野台1351番地 |

支社・支店

| | |
|------|--------------------------------|
| 中部支社 | 愛知県名古屋市中区金山1丁目13番13号 金山プレイス |
| 関西支社 | 大阪府大阪市北区中之島3丁目3番3号 中之島三井ビルディング |
| 九州支店 | 福岡県福岡市博多区冷泉町2番1号 博多祇園M-SQUARE |

研究開発

| | |
|---------------|---|
| R&Dセンター | 愛知県名古屋市港区千年3丁目1番12号 |
| 福井開発室 | 福井県坂井市三国町黒目21-1番地 |
| 深谷開発室 | 埼玉県深谷市上野台1351番地 |
| North America | 12501 Plantside Dr, Louisville, KY 40299, USA |
| Thailand | Innovation Cluster 2 Building, Tower D, Phaholyothin Road 111 Thailand Science Park Amphoe Khlong Luang, Chang Wat Pathum Thani 12120, Thailand |



アルミニウムのチカラで、 未来をもっと豊かに。

社会に欠かせない素材となったアルミニウム。

アルミニウムのチカラを引き出すことに挑戦してきたUACJは
これからもアルミニウムの可能性を追求し続けます。

アルミニウムのチカラで人々を笑顔に、
そして持続可能な社会を。

UACJは豊かな未来を創造していきます。





株式会社UACJ

〒100-0004
東京都千代田区大手町1丁目7番2号 東京サンケイビル
TEL : (03) 6202-2600 (代表) FAX : (03) 6202-2021
<https://www.uacj.co.jp/>

"UACJ"、UACJ は、日本、米国、中国および欧州連合商標 (EUTM) などにおける株式会社 UACJ の登録商標です。

A-213 2404 BC25

